

## Laugh!

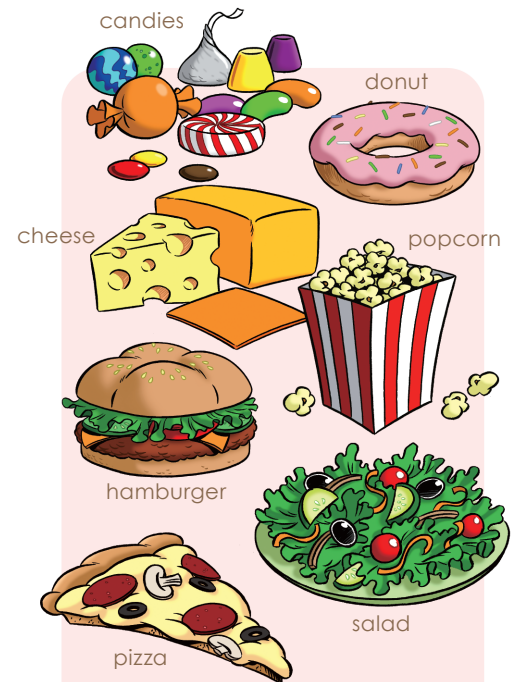
お子さまは日々、クラスレッスンで楽しみながら沢山のことを学んでいます。きっとご家族の皆さまにも、その楽しい気持ちを共有することが増えてきた時期ではないでしょうか。

Unit 6のタイトルは「Laugh!」で、様々な食べ物、曜日、そして人間の身体から出る音(くしゃみ、せき、あくび、しゃっくり、泣き声など)に関係する単語を学んでいきます。また、もう一つの大切なテーマとして人に優しくする、人の手助けをするという内容もこのユニットに含まれています。

## 学習方法

教室の中では様々な方法でコミュニケーションを取る機会がありますが、ご家庭でその姿を確認するのは難しいかもしれません。GrapeSEEDを学ばせている保護者の方々は、誰もがお子さまに流暢な英語を身につけてほしいと思っています。“流暢”というのは、実生活において自然な状況の中で言語を使うことができることを指します。泣き声や赤ちゃん言葉が文法的に正しい文章へ変わるまでの道のりと、それにどれくらいの時間がかかってきたのか、お子さまについて思い出してみてください。初めて言葉や文章を発したり、会話ができた時、皆さまはきっと喜ばれたことでしょう。

GrapeSEEDでは、それと同じ過程で英語を学んでいきます。“sit down”や“line up”といった先生の指示の意味を理解した Unit 1の1週目から、お子さまは英語でコミュニケーションを取り始めました。つまり、その時点で英語を理解してコミュニケーションをとっていたのです。その後すぐ、学習した単語を口に出し始め、やがて歌全体を歌えるようになりました。これらは英語でのコミュニケーションを学ぶうえでとても大切なステップです。私たちの目標は、子どもたちが Unit 10 までに完全な文章の形で話ができるようになり、Unit 15 までには会話に参加できるようになることです。しかし、子どもによって学習のペースが異なることを理解しておくことも重要です。継続的に GrapeSEEDのレッスンに参加し、ご家庭で生徒用教材を使って英語に触れる時間を持つことで、その目標に到達できるようになるでしょう。



## New Words

**bread**

(パン)

**chicken**

(鶏)

**cookie**

(クッキー)

**cough**

(せきをする)

**cry**

(泣く)

**egg**

(卵)

**fight**

(ケンカ)

**garden**

(菜園)

**gloves**

(手袋)

**hiccup**

(しゃっくり)

**hit**

(ぶつかる)

**hot dog**

(ホットドック)

**hurt**

(痛む)

**kick**

(キックする)

**meat**

(肉)

**picnic**

(ピクニック)

**pinch**

(つねる)

**rice**

(米)

**scratch**

(ひっかく)

**smell**

(においを嗅ぐ)

**sneeze**

(くしゃみ)

**spaghetti**

(スパゲッティ)

**talk**

(話す)

**turkey**

(七面鳥)

**weekend**

(週末)

**yawn**

(あくびをする)

## New Letters

Pp

li

Jj

## New Phrases

**Excuse me.**

(すみません。)

**Be nice.**

(親切にしましょう。)

## ご家庭でのサポート

GrapeSEEDは、コミュニケーションに必要な「聞く」「話す」「読む」「書く」の学習を通して、お子さまの英語力を段階的に育てていくように作られています。お子さまはこれまで先生との沢山の楽しいやりとりを通して、英語における文字の概念(英文は左から右、上から下に読む、単語の間にはスペースがある等)を理解し、親しみを感じ始めているでしょう。

## トラッキングについて

クラスレッスンで先生がポエムやビッグブックを読む時、先生は読んでいる箇所を指でなぞり、その単語の意味を子どもたちに示します。これにより、子どもたちは話されている言葉を聞きながら、見ているページに書かれている文字との繋がりに気付き始めるようになっていきます。この一連の練習をトラッキングと呼びます。

次の数ユニットでは、ポエムやビッグブックに登場する単語を指でなぞりながら読んだり歌ったりしていきます。

**トラッキング:**トラッキングとは、左から右の順ですべての文字や単語を見て、その意味を理解する学習方法です。取り組み方は、指で文字をなぞる方法から始まり、徐々に目だけで文字を追うことへと発展していきます。

## 「書く」スキルについて

子どもたちは始め、エアライティングで書くための基礎を築き、文字の音と形を結びつける練習をしてきました。また、Unit 3からはレッスンで Writerが始まりました。Writerの内容は子どもたちの学習に合わせて発展していきますが、ただ書いて完成させれば良いというものではありません。むしろ、文字の音と形を結びつける大切な練習の機会であり、先生が子どもたちをどのようにサポートすれば良いのか知ることのできるツールでもあります。先生は子どもの Writerを確認して、ホワイトボードなどで手本を見せる必要があるのか、それとも他の教材をもう少し体験させる必要があるかといったことを考えます。場合によっては、Writerの一部をご家庭で終わらせてもらうようにすることもあります。ユニットの終わりに、未完成の Writerを家に持って帰ることもあるかもしれません。その時は、日々の家庭学習の一部として未完成のページに取り組みさせてください。今後のユニットでは、Listen and Writeセクションが Writerに登場し、そこでは自分の好きな事を書く練習をします。これもまた、リスニングや生徒用教材を見る合間に行う楽しいアクティビティの一つです。

